



TITLE:

露西亞主義(露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(二))

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 露西亞主義(露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(二)). 經濟論叢 1917, 5(3): 352-379

ISSUE DATE:

1917-09-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127262>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第五卷 第三號

大正六年九月一日發行

論說

同盟罷工と和解及仲裁制度(一)……………法學士 河田 嗣郎

所得稅ニ於ケル所得ノ意義(一)……………法學博士 神戸 正雄

露西亞主義……………米田庄太郎

飛脚ノ變遷(二、完)……………法學士 本庄榮治郎

時事問題

戰後^{ニ於ケル}軍國主義ト民主々義……………法學博士 戸田 海市

雜錄

あだむ・すみす傳拾遺……………法學博士 河上 肇

獨逸ノ植民的發展ノ起源……………山本美越乃

露國ノ定期刊行物ニ就テ(一)……………文學士 高倉 輝

ゆこ・すらう民族運動(二、完)……………米田庄太郎

經濟漫錄(三)……………瀧本誠一

しゅもーらゐノ戰後ノ獨逸觀……………法學士 榎田 民藏

米國ニ於ケル婦人ノ職業……………法學博士 河上 肇

臺灣^{ニ於ケル}死亡率及疾病統計……………文學博士 内田 銀藏

露西亞主義

(露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徵ト最近ノ大革命(二))

米 田 庄 太 郎

第一節 社會進化ト資本主義 (承前)

(三) 露西亞主義

前項ノ終リニ於テ述ベシ如ク、だにれぐすきハすらぐ主義ノ理論の基礎ニ改造ヲ加ヘ、しえりんぐヤヘーげる等ノ獨逸浪漫主義哲學ヲ排斥シ、主トシテ自然科學及ビ社會學ニヨリテ、新シキ理論の基礎ヲ据付ケントシタルデアルガ、今其ノ理論ノ當否ヲ批判セズ、假リニ之ヲ眞實ト認メテ置イテモ、彼ガ之レニ基ツイテ演繹セル實際的主張ハ、論理的ニ徹底シテ居ラナイノミナラズ、又事實トモ適合シテ居ラナイ。サレバ此ノ事ヲ意識スル人々ガ起ルトスレバ、其等ノ人々ハ、全クすらぐ主義ヲ放棄スルカ、又ハ其ノ精神ヲ一層徹底サセテ、夫レ以上ニ極端ナル民族主義的思想ニ進ムカ、其ノ何レカノ途ヲ選バネハナラヌ事ニナル。而シテ後者ノ途ヲトツテ進メル思想家ハ、即チ露西亞主義ト稱セラルル一派ヲナス人々デアアル。ソレデ余ハ茲ニ先ヅすらぐ主義ノ精神ヲ一層徹底サセ、露西亞ニ於テ發達セル最トモ極端ナル民族主義的思想トシテ、露西亞主義ヲ考究セントスルノデアアル。

却説すらが主義ノ精神ヲ一層徹底サセタ政治的社會的思想ト見做サルル露西亞主義ノ根本的思想ハ、其ノ實質上ニ於テ、にこらす第一世ノ忠臣うがゐるが伯 Uvarov ノ國民教育綱領中ニ、既ニ明白ニ宣言サレテ居ル。彼ハ「吾人ノ一般の任務ハ、夫レ自身ニ於テ、正統教ト獨裁君主制ト國民主義トノ精神ヲ統一包含スル國民教育ヲ確立スルニアル」ト言明シテ居ル。但シ正統教ト獨裁君主制ト民族主義トノ三者ハサキニ述ベシ如ク、すらが主義ノ三大思想デアルガ、併シうがゐるが伯ノ解スルガ如キ意味デハ、既ニすらが主義ノ主張ヲ越ヘテ、露西亞主義ノ域ニ進入シテ居ルト思ハレルノデアル。是レ余ガうがゐるう伯ノ思想ヲ以テ、實質上既ニ露西亞主義ノ根本思想ヲ發揮セルモノト見ントスル所以デアル。サレド理論的ニ又實際的ニすらが主義ノ不徹底ナルヲ覺知シ、之ヲ一層徹底サセタル思想ニ進マントスル念カラ、意識的ニ露西亞主義ヲ唱ヘ出シタ最初ノ思想家ハ、かーとこがデアルト思フ。要スルニ余ハ露西亞主義ノ最初ノ唱道者ハかーとこがニシテ、而シテ其ノ深キ理論的基礎ヲ築キ上ゲントシタルハれおんちえが、又宮廷及ビ政府ニ於テ大ナル勢力ヲ有シ、其ノ主張ノ實行ニ最トモ貢獻セルモノハほびえどのすちえがデアルト思フ。ソレデ是レヨリ此等ノ三人ノ思想ヲ考究シテ、以テ露西亞主義ノ真相ヲ窺ハントスルノデアル。

かーとこが、Michail Nikiforovich Katkov (1818-1887.)

かーとこがハ其ノ思想生活ニ於テ随分ト變遷シタ人デアル。彼ハ始メハもすこがニ於テたんけが、いちノ仲間ニ屬シ、西歐主義ノ首領連ベりんすきーヤばくにん等ト親シク交ハツテ居ツタ。而シテ千八百三十年代ノ終リ頃ニハ、特ニへーげるノ影響ヲ受ケテ居ツタガ、夫レヨリしえりんぐ

ノ哲學ニ移リ、其ノ影響ノ下デ、千八百四十年頃ニ於テ、既ニラッパル伯ノ主張、即チ正統教、獨裁君主制及ビ民族主義ヲ受ケテ、之ヲ自己ノ綱領トシタノデアル。併シ始メニハ彼ハ此等ノ三者ヲ古露西亞主義ニ對抗シテ西歐主義的ニ解釋シテ居ツタ。又千八百五十年もすこが大學ノ哲學教授ノ職ヲ免セラレテ後ハ、記者生活ニ入り、穩和ナル自由主義、立憲主義ノ宣傳者トシテ大ニ名ヲ知ラレタガ、併シ彼ノ本來ノ保守主義的性質ハ其ノ頃ニ於テモ、種々ノ機會ニ於テ現ハレテ居ツタ。而シテ千八百六十一年頃カラハ明白ニ右黨ニ傾イタ。此クテ彼ハ農民解放及ビ之レニ續ケル諸種ノ改良策ハ、進歩的勢力ヲアマリニ解放シ過キテ、之ヲ不正當ナル方面ニ走ラシメタト非難シ、又民主主義的運動ハ眞正ナル進歩ニ必要ナル君主主義、貴族主義及ヒ中央集權主義ノ原則ノ否定ヲ意味スルモノデアルト論ジタ。而シテ彼ハ彼ノ三大主張、即チ正統教主義、獨裁君主主義及ビ民族主義ヲ益々政府ノ意ニ投ズル様ニ解釋シ、殊ニ千八百六十六年つあー暗殺ノ計畫ノ起リシ後ハ、斷然いんてりげんちあニ反對シ始メタ。此クテ千八百六十七年ニハ彼ハ自己ノ信仰綱要ヲ發表シテ左ノ如クニ云フテ居ル。「露西亞ハ統一的國家ト強大ナル國民トヲ要スル。吾人ヲシテ總テノ住民ニ共通スル一ノ言語ト、總テニ共同的ナル一ノ信仰ト、すらぎのみゝる制度トノ上ニカ、ル國民ヲ建設セシメヨ。而シテ吾人ノ進ミ行ク此ノ方針ヲ妨クルモノハ、總テ之ヲ破壊セシメヨ」。

かゝところハ其ノ後益々政府ニ接近シタルガ、殊ニあれきさんだー第二世崩御ノ後ニハ、宮廷及ヒ政府ニ於ケル彼ノ勢力ハ最頂上ニ達シタ。彼ハ又ほびえごのすちえぎト結ンデ自己ノ地盤ヲ

堅メルコトニ勉メ、而シテ殊ニ教育行政上ニ勢力ヲ振ハントシタ。實ニ千八百八十四年ノ反動的保守主義の大學令ハ、主トシテ彼ノ手ニ成リシモノデアル。又彼ノ死去セシ際、あれきさんだー第三世ガ特ニ彼ノ遺族ニ弔電ヲ送リテ彼ノ死ヲ痛マレシコトヤ、又盛シニ彼ノ愛國心ヲ賞揚サレシコトハ、宮廷ニ於ケル彼ノ勢力ノ如何ニ大ナリシカヲ示スニ十分デアル。彼ハ此ノ如ク宮廷ヤ政府ニ於テ大ナル勢力ヲ有セシガ、併シ彼ノ思想ハ屢々變遷シ、且ツ其ノ説ク所ハ常ニ徹底ヲ夫イテ居ル。隨フテ吾人ハ彼ノ著作ニ於テ、何等組織アル政治的社會的思想ヲ發見スルコトハ出來ナイ。要スルニ彼ハ別ニ思想家トイフ程ノ人物デハナク、世才ニ長ゼル機敏ナル政論家デアツタト思ハレル。彼ハ盛シニ保守主義ヲ主張シテ居ツタニ係ラズ、彼ノ著作ニ於テ徹底セル保守主義の人生觀ヲ發見スルコトハ出來ナイ。彼ハ只頭モナケレバ情モナイ反動的思想ノ忠實ナル奴隸トナツテ働キ、而シテそろぐいえゾノ評セシ如ク、「眞ニ回教徒の熱誠ヲ以テ、露西亞ノ專制君主的國家ヲ辯護シタ人」デアルノデアル。

れおんちえひ Konstantin Nikolayevich Leoniev (1831-1891)

れおんちえひモ亦かゝどゴト同ジク随分複雑ナ性質ノ人デアツタ。彼レ自身モ之ヲ意識シテ自分ハ「堪ヘ難キホド複雑ナ人間」デアルト云フテ居ル。併シ彼ハかゝどゴヨリハ遙カニ奥深ナル思想家デアツタ。而シテ又露西亞主義或ハ露西亞神政主義ノ理論家トシテ最トモ勝レタル人デアツタ。吾人ハ彼ノ著作ニ於テ、露西亞主義ノ最トモ深奥ナル理論的基礎ヲ發見スルコトガ出來ルノデアル。

れおんちえケハ始メ醫ヲ學ビ、くりみあ職争ノ際ニハ軍醫トシテ従軍シタガ、後地方ニ退イテ醫業ヲ開イタ。併シ彼ハ田舎醫者ノ生活ナ以テ到底満足スルコトガ出來ズ、數年ノ後外交官トナリ、千八百六十三年コリ同七十年マデ歐洲土耳其ノ諸都市ニ於テ領事ヲ勤メタ。而シテ其ノ間ニ彼ハ熱烈ナル正統教徒トナリ、遂ニ領事ノ職ヲ去ツテ、あとす山ノ修道院ニ入り、此處ニ修業ヲ積ムコト一ケ年、夫レヨリ露西亞ニ歸リテ記者生活ニ入りタルカ、後ニハもすこケノ檢閱官ニ任ゼラレタ。併シ千八百七十七年後ハ全ク世ヲ捨テテ、おぶちな、ぶーすちぬノ修道院ニ入り、内密ニ修道僧トナツタ。而シテ千八百九十一年さるゐこ、ぜるざぬケ修道院ニ於テ死去シタ。彼ハ又文學ニモヨク通ジ、幾多ノ創作モ公ニシタ。而シテ其ノ後彼ノ著作全集ハ數卷ノ大冊子トシテ公ニサレテ居ルガ、其ノ中ノ第五卷及ビ第六卷ハ彼ノ政治的社會的思想ヲ考究スル爲メニ、特ニ重要ナルモノデアアル。

れおんちえケハ生來非常ニ保守主義的ナ人デ、始メすらケ主義ヲ奉シタガ併シ到底大レテハ満足ヲ得ルコトガ出來ナカツタ。殊ニ其ノ汎すらケ主義的性質ハ露西亞民族ノ特異性及ヒ獨立性ヲ、大ニ毀損スルモノト考ヘタ。ソコデ彼ハすらケ主義ヨリモ一層徹底セル保守主義及ビ民族主義的思想ヲ求メテ、遂ニ露西亞主義ニ到達シタノデアアル。彼ハ始メすらケ主義ノ論者ニ導カラレテ正統教ノ信仰ニ入り、次ニ文獻學者ふいりつぽケノ說ヲ研究シテ、びざんちにすむすノ眞義ヲ理解スルコトニヨリテ、正統教ノ眞諦ハびざんちにすむすデアアルコトヲ覺リ、又だにれケすきーノ說ヲ研究シテすらケ主義ノ骨髓ヲ觀破シ、其ノ幼稚ナル思想デアアルコトヲ洞察シ、而シテかーこケノ說ヲ學ンテ自己ノ實際的主張ヲ確立シタノデアアル。尙ホ彼ハすらケ主義者ニ倣ヒ、露西亞主義ノ歴史哲學的社會的基礎ヲ掘付ケル爲メニ、さんしもん、へーける、こんど、すべんさー等ヲ學ビ、彼等ノ說ヲ總括シテ特有ノ社會進化說ヲ立テント試ミタ。是ヨリ彼ノ思想ノ大要ヲ述ブルコトトスル。

却說れおんちえケノ露西亞主義ノ實質的内容ヲ成スモノハ三ツアル。(一)ハ甚ダ嚴密ナル教會主義的及ビ修道院主義的ニシテ、而シテ本來びざんちん主義的ナル上ニ、加特利教會ノ法王主義的思想ヲ加味セル甚ダ特異ナル神秘的基督教、(二)ハ嚴格ニシテ、非常ニ中央集權主義的ナル專制君主政治、(三)ハみーる制度ノ下ニ實現サレタル露西亞民族ノ簡易素樸ナル生活。茲ニ彼ノ特異ナル

神秘の基督教ニ就テ、詳シク述ブル紙面モ亦必要モナイガ、併シ彼ノ露西亞主義ハ本來右ノ基督教觀ヲ基礎トシ、根本原理トシテ築キ上グラレタルモノデアルカラ、彼ノ政治的社會的思想ヲ十分ニ理解スル爲メニハ、先ヅ彼ノ基督教觀ノ大要ヲ知ツテ置カネバナラス。サレバ茲ニ余ハ先ヅ彼ノ基督教觀ヨリ彼ノ露西亞主義ヲ考究シ始メルコトトスル。

今れおんちえが眞正ナル基督教ト觀ジタルモノハ、實ニ露西亞ノ農民及ビ修道院ノ僧尼ノ信ズル基督教其物ニシテ、彼ノ論ズル處ニヨレバ、愛ヲ以テ宗教ノ基礎ト見ルハ、基督教ノ精神ニ反スル非基督教の信仰デアル。眞正ナル宗教ノ基礎ハ愛ニ非ラズシテ恐怖、詳シク云ヘハ神ヲ恐ルル念、永遠ノ神罰ヲ恐ルル念デアル。是レ人間ハ本來惡デアルカラデアル。而シテ人性ハ本來惡デアルカラ、現世ノ生活ハ又本來惡デアル。サレバ眞正ナル基督教徒ニアリテハ、眞實ナル生活ハ此ノ世ニ在ラズシテ天ニアルノデアル。正統教會ノ崇拜スル基督ハ肉ヲ賤メ、人生ハ總テ惡デアルト觀ジテ、世ヲ捨テタ基督デアル。

れおんちえが露西亞主義ノ根底トセル基督教ハ、只今述ベシ如ク、神ヲ愛ナキ、全能ニシテ暴力的ナルえはばト觀念スル恐怖ノ宗教デアルガ、彼ハ更ニ進ンデ、此ノ宗教ヲ最トモ有效ニ地上ニ實現スルモノハ、えはばノ使、即チ獨裁專制ノ君主デアルト信ジタ。彼ノ考フル處デハ、總テ眞正ナル君主ト云フモノハ、峻嚴ニシテ愛ナキ神ノ眞ノ摸像デアラネバナラス、即チ地上ノ神デアラネバナラス。隨フテ又眞正ナル基督教の國家ト云ヘバ、只專制君主の國家アルノミデアル。本來惡ナル人間ニヨリテ成立スル社會ガ、堅固ニ組織セラレ、其ノ中ニ秩序ガ保持サレル爲メニ

ハ、專制君主ノ鐵腕ガ過古ニ於テ必要ナリシ如ク、現在ニ於テモ必要デアル。人類ハ鐵鎖ヲ以テ縛ラレネバ、秩序アル團結ヲ成シ得ナイモノデアル。此クシテれおんちえぢハ、つあーハ最高ナ又最トモ神聖ナル權威ニシテ、其ノ爲スコトハ總テ善デアリ、合法的デアツテ、つあーノ所爲ハ其ノ結果ノ如何ニヨリテ判斷サル可キモノデナク、つあーノ所爲ハつあーノ所爲デアルガ故ニ正デアリ、善デアルノデ、此ノ理ヲ覺ラザル人ハ、上品ナ人デアルカモ知レナイガ、併シ基督教徒デナク、眞正ナル露西亞人デハナイトマデ論ジタ。

れおんちえぢハ又神秘主義ニ依ラズバ、到底眞ニ神ヲ知ルコトガ出來ナイト云フ見地カラシテ、世俗ノ學問ヲ排斥シ、又國民教育ヲ排斥シタ。彼ノ考フル處デハ眞ノ學問ト云ヘハ神秘主義ニ外ナラス。神秘的智識ノ外ニ、眞ニ智識ト稱ス可キモノハナイ。然ルニ世俗ノ學問ハ、神及ビ永久ノ生命ヲ求ムルモノデナクシテ、實利ヲ求ムルモノデアルカラ、其ノ與フル智識ハ正シキ眞ノ智識デハナイ。總テ實利ト幸福トヲ主眼トスル學問ハ、人間ノ邪智デアル。故ニ眞正ナル基督教徒トナル爲メニハ、近世科學モ、近世の技術モ、國際の制度モ全ク必要ガナイ。三匹ノ鯨ガ此ノ世界ヲ載セテ居ルト信ズル農民ハ平安ナ、全ク危險ノナイ人民デアル。文字ヲ知ラナイ人民ノ多イノハ、露西亞ノ幸福デアル。吾人ハ全力ヲ盡クシテ、敢テ國民教育ヲ排斥シナケレバナラス。いんてりげんちあハ決シテ民衆ニ教ユ可キモノデナク、之レニ反シテ民衆ヨリ學ブ可キモノデアル。而シテ之レガ爲メニハ、カノ人民運動者ナルモノノ主張スル如ク、人民ヲ愛スル必要ハナイ、否ナ彼等ノ如ク民族主義の審美的ニ人民ヲ愛スルト云フダケデハ足ラス。宜シク人民ト合致シ、彼等ト

一ツニナル可キデアル。

れおんちえグハ實ニ以上述べシガ如キ、あどす山ノ修道院僧ノ見地カラ、世界及ヒ世界史ヲ考察シ、殊ニ露西亞ト歐羅巴トノ關係ヲ論ジタノデアルガ、併シ彼ハ其ノ所説ニ科學的意義ヲ含マシムル爲メニ、サキニ述べシ如ク、さんしもんヤ、ヘーげるヤこんどヤすべんさー等ノ歴史哲學及ヒ社會學ヲ研究シ、又自然科學ヲ利用シテ特異ナル社會進化論ヲ立テ居ル。然ラバ其ノ社會進化論ノ根本的思想ハ如何ナルモノデアルカ。

れおんちえグノ論ズル處ニヨレバ、進化ノ觀念ハ自然科學カラ歴史ノ領分ニ移入サレタルモノニシテ、一ノ甚ダ複雑ナル觀念デアル。サレバ其ノ眞義ヲヨク理解スルニハ、先ヅ自然科學ニ就テ、之ヲ考究セネハナラヌ。而シテ今生物界ニ就テ進化ノ過程ヲ考究スルニ、進化トハ單純ヨリ複雑ヘノ漸次的昂上デアル、一方ニ於テハ同種同様ノ有機體ノ環境ニ絶ヘズ順應スルコトヲ意味シ、他方ニ於テハ總テノ同種同様ノ有機體ヨリ絶ヘズ簡性化スルコトヲ意味スル。進化ハ又無表現及ビ單純ヨリ創始及ビ複雑ヘノ絶ヘザル進動、複雑ナル要素ノ漸次的増加、内部的増加デアルト同時ニ連續的集結ニシテ、而シテ或内部的ナル專制的勢力ニヨリテ結合サレタル複雑ノ最高度ハ進化ノ頂上デアル。併シ進化ノ此ノ過程ト共ニ、全體ニ於テモ亦部分ニ於テモ、形體ノ連續的分化ガ行ハレル。吾人ハ右ノ二種ノ同伴的過程ハ、動物ノ身體ノ進化ニ於テモ、亦人間ノ身體ノ進化ニ於テモ、更ニ人類ノ心意及ビ性格ノ進化ニ於テモ、同ジク行ハレテ居ルコトヲ發見スル。一切ノ有機的現象ハ總テ同一ノ法則ニ從フモノデアル。而シテ何レノ有機體モ死ノ近ヅク時ニハ其組織

ハ單純化シ始メル。最後ニ死ノ來ル前ニハ、全體ニ於テモ亦部分ニ於テモ、箇性化ガ減弱スル。此クテ崩壞シツツアル有機體ハ、内部的ニハ益々同質的ノモノトナリ、又其ノ環境ニ益々同化シテクルノデアル。要スルニ有機界ニ於ケル進化ノ過程ハ三階段ニ分タレル、即チ三階段の過程デアル。其ノ第一階段ハ原始的單純ノ階段ニシテ、第一ノ階段ハ繁榮の複雑ノ階段、第二ノ階段ハ破滅の單純化ノ階段デアル。而シテ此ノ三階段の進化過程ハ有機界ニ限ルモノデナク、無機界ニ於テモ亦社會界ニ於テモ行ハルル普遍的宇宙的ノモノデアル。「此ノ三階段の過程ハ只嚴密ニ有機的ト稱セラルル世界ニ特有ノモノデナク、恐クハ空間及ヒ時間ニ於テ存在スル一切ノ現象ニ通ズルモノデアル。カノ諸天體ヲ特質ツケルノモ、亦彼等ノ鑛物質外皮、更ニ人類ノ性格ヲ特質ツケルノモ皆ナ此ノ過程デアル。吾人ハ藝術ノ進化ニ於テモ、繪畫、音樂及ヒ建築ノ諸派ニ於テモ、哲學ノ諸系統ニ於テモ、宗教ノ歴史ニ於テモ、終リニ種族生活、政治的組織及ヒ全文明ノ進化ニ於テモ、此ノ過程ヲ明ラカニ發見スルノデアル。」而シテれおんちえゞは右の進化説ヲ特ニ政治ノ進化ニ適用シテ左ノ如クニ論ジテ居ル。夫レ各國民ノ政治ノ進化ハ一ノ特ニ適當ナル形體ノ同時的發達ニ於テ表ハレテ居ル。而シテ此ノ形體ノ壞崩シ行クコト及ビ益々環境ニ類似シテ行クコトニヨリテ、其ノ政治ノ破滅ガ始マルノデアル。然ラハ此ノ形體ヲ固持シテ、其ノ壞崩ヲ防止スルモノハ何デアルカト云フニ、是レ即チ一ノ内部的觀念ノ專制力デアル。サレバ此ノ自然的專制力ノ結束ヲ緩メ又ハ切斷スルハ、ツマリ政治ノ破滅ヲ意味スルノデアル。此クテ各國民ハ一般ニ其ノ歴史的存在ヲ通ジテ、一定不變ナル自己特有ノ政體ヲ具ヘテ居ル。併シ其ノ諸部分ニ於テ始メヨリ終リ

マデ、大ナリ小ナリ迅速ナル變化ガ常ニ行ハレテ居ル。而シテ其ノ發達ハ、始メニ於テハ、全ク無自覺的ニ行ハレ、又其ノ真相ハ直クニハ理解サレナイ。只其ノ最高複雑及ビ最高統一ガ成就サレル中間時代、即チ第二階段ニ於テノミ、十分ニ又自覺的ニ其ノ本質ガ表現サレルノデアル。併シ此ノ階段ニ達シタル上ハ、早晚其ノ形體ノ或部分ガ毀損サレテ來テ壞崩及ヒ死滅ガ始マルノデアル。

れおんちえ^{レオンチエ}ハ以上述ベシガ如キ社會進化論ニ基ヅキテ、極力民主主義ヲ排斥シ、歐羅巴ノ死滅ヲ説クト同時ニ、露西亞ノ專制君主主義ヲ辯護シ、又之ヲ保持スルコトニヨリテ以テ露西亞ノ存續ヲ圖ラントスルノデアル。簡單ニ彼ノ議論ノ大要ヲ述ベテ置ク。

今上ニ述ベシ進化三階段説ヲ人類ノ歴史ニ適用シテ考察スルト、先ヅ人類及ヒ其ノ諸部分、即チ諸國民ハ歴史の三階段ヲ有スルモノト云ハネバナラス。而シテ吾人ハ此等ノ三階段ヲ兒童時代成年時代及ヒ老年時代ト見做スコトガ出來ル。兒童時代ハ原始的單純ヲ特質トシ、成年時代ハ複雑ナル組織化ト分化トヲ特質トシ、老年時代ハ死滅の單純化ヲ特質トスル。而シテ此ノ三時代ノ區別ヲ歐羅巴ノ歴史ニ適用シテ考察スルト、民族大移動時代ノけるまゝねん民族ハ、即チ歐羅巴ノ歴史ニ於ケル兒童時代ヲ表ハスモノニシテ、原始的單純ヲ其ノ特質トシテ居ル。次ニ中世紀ハ歐羅巴ノ成年時代、即チ隆盛時代ニシテ、總テノ力ハ十分ニ發達シテ居ル。而シテ第十八世紀ノ啓蒙運動及ビ佛國革命以後ハ、歐羅巴ハ老年時代ニ入り、墓場ニ近ヅキツアルノデアル。カノぶるぢやあ階級ノ新宗教タル自由主義ハ、實ニ民主的平等ノ名ノ下ニ於テ、國民ノ依テ以テ生存

シ得ル一切ノ自然的差異ヲ除去セントシテ居ル。此クテ歐羅巴ハ生物ノ死滅スルト同一ノ理ニヨリテ、自カラ死滅セザルヲ得ナイノデアル。歐羅巴ノ破滅ハ實ニ自然ノ法則上免レ得可カラザル運命デアル。

れおんちえグハ只今述ベシ如クニ論ジテ、歐羅巴ノ破滅、歐洲文化ノ滅亡ヲ自然法則ノ上カラ論證シ得タト信ジ、又之ヲ以テ満足ヲ感ジタノデアルガ、併シ同ジ論法ヲ露西亞ニ適用スレバ、露西亞ノ運命ヲ如何ニ推斷セネバナラヌカ。露西亞モヤハリ歐羅巴ト同様ニ何時カ破滅ス可キモノト論斷シナケレバナラヌノデハナイカ。露西亞ノミガ獨リ自然ノ運命ヲ免レルト考フ可キ何等特別ノ理由ハナイ。れおんちえグハ此ノ問題ニ考ヘ及ボシテ煩悶シタ。而シテ露西亞ハ尙ホ若キ國民デアルト云フ通俗ノ思想ハ、彼ヲ満足セシムルコトハ出來ナカッタ。是レ假令露西亞ハ眞實若イ國民デアルトシテモ、其ノ進化シテ行ク以上ハ、早晚自然法的ニ死滅ヲ免ルルコトハ出來ナイノデ、其ノ滅亡ハ只時間ノ問題デアルカラデアル。且ツ彼ハ露西亞ノ歴史ヲ見ルト、露西亞ハ既ニ千年餘モ存續シテ居ツテ、アマリ若イ國民デハナイト考ヘタ。殊ニビ―た―大帝以後ハ、幾多ノ歐洲的要素ガ輸入サレテ居ツテ、破滅ノ芽ハ既ニ生ジテ居ルト考ヘタノデアル。然ラバ如何ニシテ露西亞ノ死滅ヲ豫防シ、其ノ存在ヲ永久ニ保持スルコトガ出來ルカ。茲ニれおんちえグハ彼ノ前提ヨリ論理的ニ徹底セル論結ヲ引キ出シタ。夫レハ露西亞ノ進化、進動ヲ全ク停止セシメ之ヲ傳來的狀態ニ固定セシメルト云フコトデアル。換言スレバ露西亞ノ自然的進化ヲ人爲的ニ抑制シ、停止セシメ、之ヲ社會進化ノ第一ノ階段ニ引キ止メテ置クト云フコトデアル。而シテ是レ

方爲メニハ、彼ハ一方ニ於テハ歐洲の進歩ノ惡影響ニ對シテ嚴密ニ露西亞ヲ保護スルト、同時ニ他方ニ於テハ、專制君主ノ鐵腕ニヨリテ自由主義ノ發達ヲ壓止スルコトガ、根本的ニ必要デアルト考ヘタノデアル。彼ハ歐羅巴ヲ破滅ニ導クモノハ自由主義デアルコトヲ覺ルト同時ニ、露西亞ニ於ケル自由主義ノ發達ノ害惡ヲ痛切ニ感ジ、如何ナル形態又ハ程度ニ於テモ、自由主義ノ發達ハ許ス可キモノデナク、斷然之ヲ壓抑シ、禁止ス可キモノデアルト確信シタ。サレバ彼ハ檢閱官トシテ、自由主義ノ臭氣アル思想ハ、悉ク之ヲ禁壓セントシタノデアル。彼ノ目ニハ、自由主義ヲ唱フルモノハ、總テ無政府主義者トシテ映ジタ。彼ハ殊ニ軍服ヤ、大學ノ講座ヤ、教室ヤ、新聞條例等ノ保護ノ下デ、自由主義ヲ宣傳スル人々ハ、尤トモ危險デアルト信ジ、彼等ヲ嚴格ニ取締ルル必要ヲ大ニ主張シタ。彼ハ實ニ自由主義ヲ非常ニ嫌忌憎惡シタノデ、社會主義ノ方ハ自由主義ヨリモ勝レテ居ルトサヘ論ジテ居ル。蓋シ彼ノ見ル處デハ、自由主義ハ徹頭徹尾否定ノ主義デアルガ、社會主義ハ尙ホ訓練及ビ組織ノ要素ヲ含ンデ居ルカラデアル。

れおんちえグハサキニ述ベシ如ク、始メすらグ主義ヲ奉ジ、殊ニだにれグすきーノ説并ニ彼ノ露西亞政策論ニ心醉シテ居ツタノデアル。而シテ其後熱心ナル正統教信者トナリ、びさんちにすむすニ心醉スルニ至ツテモ尙ホだにれグすきーノ影響ハ全ク脱却スルヲ得ナカツタガ、併シすらグ主義ノ弱點ハヨク之ヲ會得シ、之ヲ幼稚ナル思想トシテ嘲笑シタ。今彼ノ考フル處ニヨレバすらグ主義ハ民族ヲ宗教及ヒ教會ト有機的ニ結合セシメテ觀念シテ居ラナイ、隨フテ民族ノ真髓ヲ十分ニ理解シテ居ラナイ。抑々宗教或ハ教會ハ總テ人間ヲ結合シテ有機的一全體ヲ成サシムル根

本的紐帶デアルカラ、民族ト云ヒ或ハ國民ト云フガ如キ、有機的ニ結合セル人類ノ一體ハ、必ズヤ一定ノ宗教或ハ教會ヲ中核トシテ成立スルモノデアラネバナラヌ。而シテ一定ノ宗教或ハ教會ヲ中核トシテ成立セル團結ニ非ラズバ、眞ニ民族ト稱シ得ラレナイノデアル。然ルニ今すらグ主義者ノすらグ民族ト稱スルモノハ、其ノ中ニハ正統教ヲ奉ズル部分モ、加特利教ヲ奉ズル部分モ亦新教ヲ奉ズル部分モ含ンデ居ルノデ、眞ノ意味デーノ民族ヲナスモノデナイノデアル。隨フテ彼等ヲ結合シテ或ハ聯合セシメテ一ノ政治的共同團體ヲ組織セントスルハ、ヨシ不可能デハナイトシテモ、甚ダ困難デアル。加特利教ヲ奉ズル波蘭土人ガ正統教ヲ奉ズル露西亞人ト合同スルヲ好マナイノハ疑ハレナイ事實デハナイカ。彼等ヲ強イテ露西亞ニ結合セントスルすらグ主義ノ政策ハ兒戲ニ類スルモノデアル。要スルニ露西亞ノ根本的特徴、本質的要素ハ正統教、びざんちにすむスデアル。びざんちにすむスハ露西亞ノ神經系統デアル。之ヲ確實ニ保持スルニ於テノミ露西亞ノ生命ガ持續セラレ、其ノ本質ガ發揮サレルンデアル。加特利教ヤ新教ヲ奉ズル民族ヲ露西亞ニ併合スルハ、是レ露西亞ノ生命ヲ危クスルモノデアル。サレバ愛すらグ主義、汎すらグ主義ハびざんちにすむスニ反スルモノデアルガ故ニ、又眞正ナル露西亞主義ニ反スルモノデアル。露西亞ノ生存ニ必要缺ク可カラザルモノハ、正統教會、びざちにすむスノ外ニナイ。眞ノ露西亞主義ハすらグ主義トハ反對ニ、加特利教ヲ奉ズル民族ヤ、新教ヲ奉ズルモノハ悉ク排斥シ、異教ノ混合ヲ防クコトニヨリテ、以テ露西亞民族ヲシテ純正ナル正統教びざんちにすむスノ精神ヲ充分ニ發揮セシメントスルモノデアル。

れおんちえがハ更ニ近世ノ所謂民族主義ナルモノハ、本來自由主義及び世界主義の民主主義ノ娘デアツテ世界の革命ノ手段トナレルモノデアルト觀念シテ、之ヲ排斥スル見地カラシテ、又すらが主義ヲ排斥セントシテ居ル。彼ハ「世界的革命ノ手段トシテノ民族政策」ナル一論文ヲ公ニシテ、當時ノ露西亞政策ヲ痛ク非難シ、其ノ根本的弱點ハすらが主義のナルコトニ在ルト論ジテ居ル。尙ホれおんちえがハ、正統教會、びざんちにすむす骨髄トスル露西亞民族ノ生命ヲ保持スルコトガ、露西亞主義ノ大眼目デアルト云フ見地カラシテ、露西亞ノ外交政策ニ於テ、澳太リヲ保護スル必要ヲ説イテ居ル。蓋シ彼ノ見ル處デハ、澳太リノ存續ハちえつく民族并ニ其他既ニ歐洲化セルすらが民族ノ惡影響ニ對シテ、露西亞ヲ防衛スルニ必要ナル手段ニシテ、澳太リハ露西亞ニ對シテ實ニ檢疫所ノ任務ヲ盡クスモノデアルカラデアアル。彼ハ又同一ノ見解カラシテばるかん問題ヲ論ジ、ばるかん半島ノすらが諸國ヲ露西亞ニ併合シ、或ハ露西亞ニ合同セシメントスル政策ニ、大ニ反對シテ居ル。彼ノ見ル處デハ、南方すらが民族ノ資産者階級ハ、既ニ歐洲ノ自由主義ニ中毒シテ居ツテ、破滅ニ近ヅキツツアルモノデ、只土耳其ノ專制的勢力ニヨリテ、漸ク其ノ最後ノ破滅ヲ免レテ居ルノデアアル。殊ニ注意ス可キハ、露西亞民族ハ、すらが主義者ノ考フル如ク、南方すらが民族ヤ、西方すらが民族ト共同的ナル多クノ性質ヲ有スルモノデナイコトデアアル。否ナ寧ロ大ニ彼等ト異ナレル性質ヲ數多有シテ居ルノデアアル。隨フテすらが民族ノ共同的性質ヲ根據トシテ、彼等ノ合同ヲ主張スルすらが主義ノ政策ハ、一片ノ空想ニ過ギナイ。れおんちえが歐洲文化、自由主義ヲ憎惡スル念ノ如何ニ強烈ナリシカハ、彼ハ歐洲化セルばるかん半島

ノすらが民族ヲ露西亞ニ併合スルヨリハ、全ク歐洲的影響ヲ受ケテ居ラナイ亞細亞諸民族ヲ併合スルコトガ、露西亞ノ爲メニ却テ有益ナルヲ論ジテ居ルノヲ見テモ察セラレル。併シこんすたんちのーぶる占領問題ニ就テハ、彼ハすらが主義者ト同ジク其ノ必要ヲ認メタ。而モ其ノ論據ニ於テハ大ニ異ナツテ居ル。要スルニ彼ハ民族主義ノ立場カラシテ、こんすたんちのーぶるノ占領ヲ主張シタノデナク、びざんちにすむすノ立場カラ、即チ東羅馬帝國ヲ復興スルト云フ主旨カラ、之ヲ主張シタノデアル。

尙ホ專制君主主義者トシテ、れおんちえがハ又大ニ貴族主義ヲ尊崇シタノデ、彼ハまぎやる民族ヤ土耳其民族ノ貴族主義ヲ大ニ賞揚シ、隨フテ東海地方ノ獨逸民族ノ貴族主義ヲモ亦賞揚シテ居ル。彼ハ實ニ東海地方ノ男爵一人ハ、れつと民族及ビリつあにあ民族ノ全體ヨリ價值大ナリトマデモ考ヘタノデアル。

以上述べ來リシ處ニヨリテ、余ハれおんちえがノ露西亞主義ノ内容ノ大要及ヒ其ノ理論的基礎ノ一般ヲ究明シタト信ズルガ、終リニ露西亞主義、露西亞神政主義ノ實際的權化トモ見做サレテ居ルハびえどのすちえがノ思想ノ一般ヲ考究スルコトトスル。

はびえどのすちえが Konstantin Petrovich Pobiedonoshev (1827-1907)

はびえどのすちえがハあれきざんだー第三世及ヒにこらす第二世ノ治下ノ露西亞即チ最近ノ露西亞ヲ理解スル爲メニハ、甚ダ重要ナル人物デアル。彼ハ實ニ輓近ノ露西亞ノ官僚主義露西亞主義ノ權化デアル。

彼ハ千八百九十六年ニもすこぐすき、すばるにくへもすこぐ集ヲ公ニシテ、彼ノ宗教的政治的思想ヲ論述シテ居ルガ、其ノ著作ヲもすこぐ集ト題シテ居ルコト其事ガ、先ヅ何ヨリモ彼ノ思想、彼ノ人格ノ特質ヲ大ニ暗示シテ居ルノデアル。もすこぐハ彼ニトツテハ實ニ神聖ナル都、真正ナル基督教會ノ第三ノ羅馬、真正ナル露西亞民族ノ精神の首府デアツテ、彼ハ何處ニ住シテ居ツテモ、精神のニハ常ニ自カラもすこぐ人トシテ感じ、又考ヘテ居ツタノデアル。尙ホ肉體のニモ彼ハもすこぐニ生レ、同市ノ大學ノ民法及ヒ民事訴訟法ノ教授トシテ名ヲ擧ゲ、又右ノ資格ヲ皇太子ノ法學ノ師傳ニ任セラレタノデアル。而シテ千八百八十年ニハ、神聖會議ノ大檢査官ニ任セラレタガ、千九百五年ノ革命マデ、其ノ官ニ在ツタ。此ノ地位ハ又彼ノ思想ハ重大ナル延及ヒ政府ニ於テ、大ナル勢力ヲ振ハシムルニ湛ガリアツタノデアル。あれきさんだー第三世即位ノ頃ヨリ彼ノ思想ハ重大ナル一勢力トナツタガ、千九百五年及ビ六年ノ革命ニヨリテ神聖會議大檢査官ノ地位ヲ失ヒタルニ係ラズ、最近ノ大革命前マデ、彼ノ思想ノ勢力ハヨク持續サレテ居ツタノデアル。

ばびえどのすちゑぐハもすこぐ人デアリ、又常ニもすこぐ人タランコトヲ欲シタ。彼ハ彼ノ精神的祖先ヲもすこぐノすらぐ主義者、殊ニ古露西亞主義者ノ中ニ求メタ。彼ノ哲學の根本思想ハ、時ニハきれえぐすきヲ、時ニハちよまこぐヲ、又時ニハあくさこぐヲ憶ヒ起サシムル。併シ「もすこぐ集」ニ於テ、殊ニ著シク現ハレテ居ルノハ、ほごぢんヤかーどこぐヤれおんちえぐ等ノ面影デアル。ばびえどのすちゑぐハ、虛無主義及ビ革命的てろりすむすニ於テ、彼ノ根本的思想ノ歴史哲學的正反對カ認メラレルト考ヘタノデアルガ、然ラハ彼ノ根本的思想ト云フハ如何ナルモノデアルカト云フニ、是レ即チ西歐文化トハ正反對ナル古露西亞文化ハ、真正ナル露西亞政策ノ唯一ノ正當ナル基礎デアルト云フ思想デアル。今彼ノ見ル處ニヨレバ、露西亞ト歐羅巴トノ關係ハ、宛モ晝ト夜、光ト暗、あふらなづだトありまんトノ關係ノ如キモノデアル。露西亞ハ社會

的秩序ノ權化ニシテ歐洲ハ無政府ノ權化デアル、前者ハ生ニシテ後者ハ死デアル。然ラハ歐洲ヲシテ此ノ如ク無政府のナラシメ、暗黒ナラシメ、死滅セシメツツアル其ノ根本原因ハ如何ナルモノデアルカ。又之ニ反シテ露西亞ヲシテ秩序のナラシメ、光ト生命トノ權化タラシメテ居ルモノハ何デアルカ。

ほびんどのすちえびノ考フル處ニヨレバ、歐洲文化及ビ自由主義ノ根本的害毒ハ合理主義デアル。合理主義ヨリシテ自由主義ハ自カラ生レ出デ、而シテ歐洲崩壞ノ因トナツテ居ルノデアル。サレバ自由主義ヲ撲滅スルニハ、先ヅ其ノ根源タル合理主義ヲ撲滅セネバナラヌ。而シテ彼ハ之レガ爲メニ、時ニハ論理其物ヲ極力排斥シ時ニハ論理の形式、又時ニハ批判及ビ批判主義ヲ排斥シテ居ル。彼ハ此ノ如ク一方ニ於テ合理主義ヲ暗黒、崩壞、破滅ノ根源トシテ排斥スルト同時ニ他方ニ於テ直接的欲望ヲ以テ表現スル生命ヲ大ニ賞讃シ、全然直接感覺、暖タカキ感情及ビ現實經驗ニ信賴ス可キコトヲ説イテ居ル。彼ハ多クノ浪漫主義者ノ如ク、近世哲學、科學及ビ文明ヲ排斥シテ居ル。併シ彼ハ自然ノ狀態ニ歸レト教ユルノデハナク、びーター大帝前ノ時代即チびざんちん正統教ト教父哲學トヲ具備セル第三羅馬ノ時代ニ歸レト教ユルノデアル。而シテ其ノ教父哲學ナルモノハ、彼ノ解スル處ニヨレバ、全然合理主義の要素ヲ洗滌セル純神秘主義のモノデアル。夫レ萬事ヲ明亮ニ理解セント欲スルハ只愚人ノミデアル。只愚人ノ頭ニ於テノミ、カカル欲望ハ起ルノデアル。總テ人生ノ最トモ價值アル、又最トモ必要ナル概念ハ、精神ノ奥底ニ存在シテ、常ニ神秘的薄明ヲ以テ包マレテ居ルノデ、決シテ明白ニ理解シ得フルルモノデナイ。總テ深奥最

大ノ思想ハ本來不明亮ナルモノニシテ、只淺薄皮相ナ思想ノミガ明亮デアリ得ルノデアル。而シテ民衆ハ本來情性ノ力ヲ有ス。併シ其ノ情性ハ無訓練及ヒ粗野ト混同サレテハナラヌ。夫レハ只論理的思考ニ對スル自然的ニシテ健全ナル恐怖、喧騒ナル近世の進歩ニ對スル健全ナル恐怖ヲ意味スルモノデアル。而シテ此ノ事ハ民衆ハ本來傳說ニ信賴シテ生活シテ居ルノヲ見レバ明ラカデアル。抑々傳說ハ論理的ニ考ヘ出サレ、人爲のニ作ラレタルモノニ非ラズシテ、現實ナル生活カラ自カラ生レ出デタルモノデアル。サレバ人類ノ權威トシテ傳說及ビ歴史ホド貴重ナモノハナイ。此ノ權威ニ信賴シ、之レニ服從スルニ於テノミ人類ハ安穩平和ナ生活ヲ送ルコトガ出來ルノデアル。自然權ヲ以テ人類ノ權威ト見ルハ、歐洲思想ノ根本の謬見ニシテ、此ノ謬見ガツマリ歐洲ノ破滅ヲ惹起シツツアルノデアル。然ルニ眞ノ露西亞人民ハ其ノ論理ニヨリテ傷害サレテ居ラナイ信心ニヨリテ、傳說及ビ歴史ノ權威ヲ認メ、之レニ自然的ニ服從スルノデアル。是レ露西亞ニ生命アル所以デアル。總テ民衆ハ其ノ精神ニヨリテ直接ニ絕對の真理ヲ感得シ、而シテ其ノ信仰ニヨリテ之ヲ藝術のニ表現スルノデアルガ、其ノ藝術のニ表現サレタルモノガ、即チ傳說デアル。此クテ傳說ハ民衆ガ直感セル絕對の真理ヲ歴史のニ具體化シ、藝術化セルモノニ外ナラヌ。然ラバ此ノ絕對の真理トハ抑々何デアルカト云フニ、是レ實ニ宗教の真理ニ外ナラヌ。而モ茲ニ云フ宗教トハ單ニ抽象のナ宗教ヲ意味スルモノデナクシテ、露西亞教會其物ヲ意味スルノデアル。露西亞教會ハ實ニ絕對の真理デアル。而シテ此ノ絕對の真理ハ露西亞教會ノ儀式ニヨリテ、論理ニ煩ハサレナイ所謂無教育ナル本純ナ露西亞人民ニ神秘的ニ傳ヘラレルノデアル。要スルニ露西亞

民族ガ絶對的眞理ヲ具有シテ居ルノハ、是レ露西亞教會ガ獨リ絶對的眞理ヲ有シ、否ナ夫レ自身絶對的眞理デアルカラデアル。

ほびえどのすちえうハ次ニ歐洲ノ根本的害毒、即チ合理主義ヨリ論理的ニ生レ出デタル第二ノ害毒トシテ、自然人ヲ優勝ト見ル信仰ヲ擧ゲテ居ル。彼ノ見ル處ニヨレバ民主主義ハ根本的ニハ此ノ信仰ヨリ發達セルモノデアル。併シ此ノ信仰ハ根本的ニ謬レルモノニシテ、人性ハ本來惡ニシテ、人間ハ本來惡人デアル。隨フテ又民主主義ハ其ノ一切ノ形態ニ於テ惡デアル。此クテ彼ハ代議制度、議會制度ヲ大ニ嘲弄シ、罵倒シテ居ル。彼ノ見ル處デハ、自由、平等、四海同胞ト云フコトハ、只美ハシキ文句、及ビ偶像ニ過キナイ。多少ナリトモ名譽及ビ義務ノ念ヲ有スルモノハ、到底近世ノ選舉法、殊ニ普通選舉權ヲ承認スルコトハ出來ナイ。新聞雜誌ハ輿論ノ機關デアルト自稱シテ居ルガ、實ハ現代ノ最大欺瞞ノ一デアル。彼ハ又國民教育ヲ以テ啻ニ無益ト考ヘタバカリデナク、實ニ絶對的ニ有害デアルトシテ大ニ之ヲ排斥シタノデアル。

ほびえどのすちえうハ又近代生活ノ如何ニ不自然、無意味、虛偽デアルカハ、自殺ノ増加ニヨリテ尤トモヨク證明サレテ居ルト考ヘタ。蓋シ彼ノ見ル處デハ、男女關係及ビ家族生活ニ就テ、遠キ昔ヨリ試練サレ來レル一切ノ規範ヲ排斥シ、之レニ代ユルニ放縱ナル隨人主義及ヒ主觀主義ヨリ生レタル利己主義ヲ以テセンニハ、人間ハ自分ノ自我以外ニ自分ヲ支ヘル何物ヲモ有セズ、又自分ノ自我以外ニ自分ヲ導ク何等ノ力ヲモ有シナイコトニナリ、自カラ生ヲ呪ヒ、生ヲ斷タントスルニ至ルガ、然ルニ生アル人間ガ生ヲ呪ヒ、之ヲ斷タントスルホド不自然ナコトハナイカラ

デアル。而シテ現代人ノ之ヲ敢テスルノハ、是レ現代生活ガ如何ニ不自然デ、無意味デ、又虛偽デアルカラ尤トモヨク證明スルモノト云ハネバナラヌ。

ほびえどのすちえぞノ思想ノ一般的性質ハ、以上述べ來リシ處ニヨリテ、大體上理解サレルト思フガ、今彼レニ於テ其ノ頂上ニ達シタトモ見做シ得ラルル露西亞主義、露西亞官僚主義ノ運命ガ、今日如何ニナリシカハ、最近ノ大革命ニヨリテ最トモ明白ニ示サレテ居ルノデアル。最近ノ大革命ニヨリテ、其ハ少クモ一時的ニハ全然破壊サレタノデアル。サレド露西亞主義ハ永久ニ死滅シタト見ルコトモ出來ナイ。他日如何ナル勢力ヲ以テ復活シ來ルカモ知レナイ。而モ大革命前ニ於ケルガ如キ強大ナル勢力ヲ振フコトハ、二度トアルマイト思ハレル。トニカク、余ハ終リニすらぎ主義并ニ露西亞主義ニ就テ、少シク批判的考察ヲ加ヘテ置キタイト思フ。

すらぎ主義并ニ露西亞主義ノ批判的考察

サキニ述ベシ如ク、すらぎ主義ハ露西亞人ガ從來盲目的ニ輸入シ來レル西歐文化ニ對シテ、自己特有ノ文化ノ本來存在スルコトヲ覺ルニ當テ、先ヅ發達シ來レル民族主義的思想ノ最初ノ組織アル形態デアル。而シテすらぎ主義ハ始メニハ本來民族主義的ナル獨逸浪漫主義哲學、殊ニしえりんぐ及ビヘーゲルノ哲學ヲ基礎トシテ建設サレタノデアルガ、然ルニ其ノ後浪漫主義ガ一般ニ勢力ヲ失ナヒ殊ニヘーゲルノ哲學ガ大ニ衰退スルニ當テ、新ラタニ自然科學及ビ社會學ニヨリテ其ノ理論的基礎ガ改造サレタノデアル。而シテだにれぎすき一ノ說ハ此ノ理論的基礎ヲ改造セントスル企ダテニ於テ最トモ勝レタルモノト見做サレテ居ルカラ余ハ前項ニ於テ其ノ根本思想ヲ略

述シテ置イタノデアル。然ルニだにれうすき一ガ、新ラタニすらが主義ノ理論の基礎トシテ据付ケタル社會進化論ハ、今日ノ社會學ノ上カラ見レバ甚ダ粗糲ナルモノニシテ、到底維持サレ難キモノデアル。併シ余ハ茲ニ彼ノ社會進化論ノ理論の價值ヲ批判シヤツトハ思ハナイカラ、別ニ此點ニ就テハ論ジナイガ、今假リニ彼ノ社會進化論ヲ真理ト見做シ、而シテ彼ガ夫ヨリ論理のニ演繹サレタルモノトシテ辯護シ、主張スルすらが主義ノ具體的及ビ實際的思想ハ、果シテ論理のニ徹底セルモノデアリ、又實際ノ事情ニ適合セルモノデアルカト云フニ、ツキニ述ベシ如ク、決シテソウデナイノデアル。西方すらが民族及ビ南方すらが民族ノ多クハ既ニ餘程歐洲化シテ居ツテ、すらが主義者ガすらが民族特有ノ文化的要素トシテ其ノ維持及ビ發達ヲ圖ラントスルモノヲ有ツテ居ラナイ。要スルニ西歐文明ニ對抗スル獨立ナル特有ノ文明ヲ有スルモノトシテノすらが民族ナルモノハ、現實ニハ存在シナイ。而シテカカル文明ヲ有スル特別ノ民族トシテハ、只露西亞民族アルノミデアル。詳シク云ヘハすらが主義者ガすらが民族特有ノ文化的要素ト見ル處ノ正統教會、專制君主制及ビみゝる制度ノ三者ヲ具有スルモノハ、只露西亞民族ノミデアル。サレバすらが主義ヲ論理のニ徹底サセ、且ツ實際ノ事情ニ矛盾シナイコトヲ望メバ、すらが主義ハ露西亞主義ニ轉化セザルヲ得ナイ。此クテ西方すらが民族モ亦南方すらが民族モ總テ排斥シテ、只露西亞民族ノミヲ以テ文化的ニ見テ特異ナ獨立ナ民族ト觀念シ、其ノ獨特ノ存在ヲ維持セントスル露西亞主義ガ發達シテ來タノデアル。而シテ露西亞主義ハ、特ニびざんちんの正統教會及ヒ專制君主制ヲ最トモ重要視スル結果トシテ、本來民主主義的傾向ヲ具有スル民族主義的思想ハ全ク其ノ中ヨ

リ消滅シテ、純粹ナル官僚主義トナツテ仕舞フタノデアル。此ノ事ハ露西亞主義者ガすら主主義ハ本來自由主義的及ヒ世界主義的民主主義的ノモノデアルト非難シテ居ルコトニ於テ明ラカニ窺ハレルノデアル。要スルニ露西亞主義者ハすら主主義ヨリモ一層論理的ニ徹底シ、又實際ノ事情ニ一層ヨク適合セル民族主義的思想ヲ發達サセント努力セル結果、近世民族主義トハ全ク性質ヲ異ニスル古代的專制君主主義トナツテ仕舞フタノデアル。是レ彼等ガ歐洲文化ヲ極力排斥スルト同時ニ、土耳其ノ政治的及ビ社會的組織ニ同情シタリ、又露西亞ハ歐洲ヨリモ一層親シク亞細亞ト共鳴スルト考ヘタ所以デアル。

露西亞主義ノ真相ハ以上述べシガ如キモノニシテ、全ク現代ノ社會的進化ノ方向ニ逆行スルモノデアル。サレバ輓近ニ至ルマデ、外觀上非常ニ強大ナル勢力ヲ有スルガ如クニ思ハレシニ係ラズ、最近ノ大革命ニヨリテ脆クモ全然破滅シタノデアル。余ハ本年三月宮廷列車ノ一室内ニ於テにこらす第二世ガ退位ノ詔敕ニ署名サレタト云フ新聞ノ外電ヲ見シ際、同帝ガ千八百九十五年卽位ノ大禮ヲ擧ゲラレシ時、全帝國ノ總テノ階級ノ代表者ヲ宮廷ニ召シテ謁見ヲ賜ヒ、且ツ彼等ニ下サレシ詔勅ノ中ニ「朕ノ總テノ臣民ヲシテ能ク知ラシメヨ、朕ハ全力ヲ盡クシテ人民ノ安寧幸福ヲ圖ルガ、朕ノ忘レ難キ父帝ノ如ク、朕モ亦獨裁君主制ノ主義ヲ斷乎トシテ保護セントスルモノナルヲ」ト云フ語ノアリシコト、又此ノ詔敕ハ露西亞主義ノ權化ほびえどのすちえげノ手ニ成リシト傳ヘラレテ居ルコト、且ツ右ノ詔敕ノ下リシ翌日、自由主義者ガ之レニ對シテ發表セル公開狀ノ中ニ「陛下ハ先ツ戰ヒ(君民ノ戰)ヲ始メラレタ、サレバ戰ヒハ來ルデアラウ」ト云フ語ノアリシコ

ト等ヲ憶ヒ起シテ、露國ノ皇室ヲ滅亡セシメタルハ、實ニ頑冥ナル露西亞主義者、官僚主義者デアルコトヲ覺リ、深ク思ヒニ沈ンダノデアル。併シ此ノ問題ハ別トシテ、茲ニハ只社會學上カラ見テすらゞ主義及ヒ露西亞主義ノ根本思想ヲ少シク批判センニ、すらゞ主義ガすらゞ民族ノ文化ニ特有ナル要素ニシテ西歐文化ノ根本要素トハ正反對ノモノトシテ主張シ、又露西亞主義ガ一層嚴密に推論シテ露西亞民族ノ文化ニ特有ナル要素ト解セル正統教會、獨裁君主制及ビミゝる制度ハ、果シテ彼等ノ考フルガ如ク、すらゞ民族又ハ露西亞民族ニ特有ノモノデアルカ。又彼等ノ考フルガ如キ價值ヲ有スルモノデアルカ。

此ノ問題ニ就テハ、西歐主義者ヤ自由主義者ガ既ニ詳シク論ジテ居ルノデ、又後ニ彼等ノ說ヲ考察スル場合ニハ、是非此問題ニ關スル彼等ノ說ヲ述ベネバナラヌカラ、茲ニ余ハ之ヲ詳シク論ジヨットハ思ハナイガ、要スルニ露西亞ノ正統教會ナルモノハ云フマデモナク、びざんちん帝國ノ基督教ヲ受ケ入レ、之レニ露西亞傳來ノ宗教的傳説ヤ慣習ヲ混合セルモノニシテ、決シテすらゞ民族本有ノ宗教的信仰デモ、亦露西亞民族本有ノ宗教的信仰デモナイ。且ツ其ノ宗教的價值ハ決シテすらゞ主義ヤ露西亞主義ノ主張スルガ如ク大ナルモノデナイコトハ、宗教學上ヨリ考察スレバ明瞭デアル。次ニ露西亞ノ獨裁君主制モ亦すらゞ民族本有ノモノデモ、露西亞民族本有ノモノデモナク、露西亞ノ歴史的事情ノ下デ一定ノ時代ニ於テ發達セル幼稚ナル政治的制度ニシテ、何レノ國民ニ於テモ或時代ニハ發達シテ居タモノデアル。終リニミゝる制度モ、是レ亦一般ニ半文化人民ニ於テ見ル處ノ一種ノ材落共產主義制度ニシテ、決シテすらゞ民族又ハ露西亞民族ニ特

有ナルモノデナク、只露西亞民族及ヒ他ノ或すらハ民族ノ經濟的發達ガ現代ニ至ツテモ、尙ホ幼稚ナルガ爲メニ比較的ニヨク保存サレテ居ルニ過ギナイ。要スルニすらハ主義ガ大ニ苦心シテ發見シ得タト信ゼシすらハ民族或ハ露西亞民族特有ノ文化的要素ナルモノハ、實ハ何レノ現代文化國民モ嘗テ發達サセテ居ツタ早代文明ノ遺物ニ外ナラナイノデアル。サレバ其等ノ文化的要素ヲ基礎トシテ、西歐文明トハ異ナレル、否ナ夫ヨリモ大ニ勝レタルすらハ民族特有ノ文明ヲ發達サセルト云フすらハ主義ノ主張ハツマリすらハ民族ノ進歩ヲ拘束シテ、舊文明ヲ固持スルト云フコトニ歸着スルノデアル。而シテ是レ實ニ露西亞主義ノ明白ニ宣言シタコトデ、此ノ點ニ於テモ露西亞主義ハすらハ主義ノ主張ヲ一層論理的ニ徹底サセタト認メ得ラレル。要スルニ西歐文明ニ反對シテ自由主義及ヒ資本主義ヲ排斥セルすらハ民族或ハ露西亞民族特有ノ文明ヲ發達ササネバナラメト云フすらハ主義及ヒ露西亞主義ノ主張ハ、結局すらハ民族或ハ露西亞民族ノ發達ヲ抑止シテ、自由主義前及ヒ資本主義前ノ文明ニ、彼等ノ進歩ヲ固定セシムルト云フコトニ歸着スル。併シ現代の境遇ノ下ニ於テ、カクノ如キ目的ヲ成就スルコトハ甚ダ困難デアル、殆ンド不可能デアル。是レすらハ主義者ヤ露西亞主義者ノ暗ニ感ジテ居ツタ事ト思フ。而シテ夫レガ爲メニ、彼等ハ甚ダ教權主義的ナルビざんちん正統教會ヤ、峻嚴ナル專制君主主義ノ必要ヲ主張シタノデアルト察セラレル。而モ其等ノ勢力ヲ以テモ、尙ホ露西亞ノ現代の進歩ヲ抑制シ得ザリシコトハ、近來同國ニ於ケル自由主義及ヒ資本主義ノ進歩ノ顯著ナリシコト、及ビ最近ノ大革命ノ成功セシコトニコリテ、明ラカニ證明サレテ居ルノデアル。サレバ近代ニ於ケル自由主義及ヒ資本主義ノ著

シキ發達ハ、種々ナル社會的及ヒ人格の害惡ヲ齎ラセシニ係ラズ、資本主義時代ハ人類社會ガ高等ナル發達ヲナス爲メニハ、必ズ通經セネバナラス、又到底避ケ得ラレナイ一階段デアルノデハアルマイカ。後進國ノ勉ム可キコトハ、如何ニシテ此ノ時代ガ避ケ得ラレルカヲ考究スルコトデハナクシテ、如何ニシテ此ノ時代ヲ、出來ルダケ害惡ヲ少ナクシテ、通過シ得ルカヲ考究スルコトデハアルマイカ。吾人日本人ハ、露西亞ニ於ケルすらが主義及ヒ露西亞主義ノ歴史ヨリシテ、種々ナル敎訓ヲ學ブコトガ出來ルト思フ。

終リニ余ハすらが主義及ヒ露西亞主義ノ歴史ニ就テ、すらが民族又ハ露西亞民族ニ特有ナル文化的要素ヲ發見セントスル努力ガ、如何ナル結論ニ達シタカヲ明ラカニシ、以テ他ノ國民又ハ民族ニ就テ同様ナル研究ヲ企ツル人々ノ參考ニ供シテ置キタイト思フ。サキニ述ベシ如ク、すらが主義者ハすらが民族ハ西歐文化トハ根本的ニ異ナレル、又之レヨリモ一層勝レタル高等ナル文化ヲ產出スル力ヲ本來具有スルモノト信ジ、而シテ西歐諸民族ニハ存在シナイデ、獨リすらが民族ノミガ本來具有スル一定ノ文化的要素ヲ發見セント企ダテタノデアル。其ノ結果彼等ガ確カニ發見シタト信ゼシ、該民族特有ノ文化的要素ト云フハ、即チ正統敎、專制君主制及ビミゝる制度ノ三者デアツタ。併シ歴史ニ就テ、又現在ノ狀態ニ就テ、詳シク研究シテ見ルト此等ノ三者ハ總テノすらが民族ニ通ジテ存在スル該民族ノ共同の特徵デナク、只露西亞民族ニ於テノミ相結合シテ存在スルモノデアルコトガ、先ヅ發見サレタ。此クテ此等ノ二者ヲ基礎トシテ特有ノ文化ヲ發達サセルモノハ、すらが民族ノ全體デハナクシテ、只露西亞民族ノミデアルコトガ主張サレルニ至ツタ。

是レ即チすらゞ主義ニ對シテ露西亞主義ノ唱道スル處デアル。而シテ此ノ點ニ於テ露西亞主義ハ
すらゞ主義ヨリモ一層徹底セルモノト認メ得ラレル。併シ露西亞主義モ果シテ十分ニ徹底シテ居
ルト認メ得ラルルカト云フニ、決シテソウデナイ。更ニ詳シク研究シテ見ルト、露西亞民族特有
ノ文化或ハ文化的要素トシテ、露西亞主義ノ主張スル處ノモノハ、實際ニ於テ露西亞民族全體ニ
通ジテ存在スルモノデナイコトガ發見サレル。ソコデ露西亞文化ノ眞正純粹ナル摸型ハ、只露西
亞民族ノ一部分、即チ大露西亞人ニ於テノミ發見サレルノデ、他ノ部分、即チ小露西亞人ヤ白露
西亞人ニ於テハ存在シナイト考ヘル人々ガ起ツテ來タ。是レぐれぐれ及ビふいりばゞノ率ヒ
タ一派ノ人々デアツタ。併シ此等ノ人々ハ尙ホ詳シク探究シテ見ルト、純粹ナル露西亞文化ノ型
ハ大露西亞人全體ニ通ジテ存在スルモノデナク、只もすこゞ市ノ住民ニ於テノミ存在スルモノナ
ルヲ發見シ、更ニもすこゞ市ニ於テモ、只もすこゞ河ノ向フ側ノ古キ商人町ニ於テノミ保存サ
レテ居ルコトヲ發見シタ。此クテ彼等ハ其處ノ古キ一旅館ニ集リテ、古キ民謡ヲ歌ヒ、古キ慣習
ヲ讚美シテ、彼等ノ露西亞主義的趣味ヲ満足サセルコトトシタ。要スルニ露西亞文明ノ眞正純粹
ナル摸型ハ大露西亞人ノ間ニアリテモ、只もすこゞ市ノ一隅、古キ商人町ニシカ保存サレテ居ラ
ナイコトニナツタノデアル。併シ論理ノ進行ハ其處ニ止マラナカツタ。而シテ更ニ一步深ク進ン
ダ。結果ハ露西亞特有ノ文化ナルモノハ全ク存在シナイト云フ結論ニ達シタ。蓋シ露西亞特有ノ
文化ト稱セラルルモノヲ、詳シク分析シテ各要素ノ源淵ヲ探求スルト、夫レハ悉クびざんちん帝
國カラ輸入セルびざんちん文明ノ要素デアルコトガ發見サレテ來タカラデアル。此クテ露西亞ノ

文化的使命ニ對スル觀念或ハ信仰ハ、最初ノすらジ主義ノ信仰トハ全ク異ナレルモノトナツタ。即チ露西亞ハすらジ民族特有ノ文化的要素ヲ基礎トシテ西歐文明トハ全ク異ナレル、又夫レヨリハ遙カニ高等ナル文明ヲ發達サセ、以テ人類ヲ墮落破滅ヨリ救フ文化的使命ヲ有スルモノデアルト云フすらジ主義ノ信仰ヨリ出發シタル民族主義的ニシテ又世界主義的ナリシ思潮ハ、一轉シテ只特有ノ文明ヲ發達サセテ露西亞民族其物ノ存在ヲ確カメルコトガ其ノ使命デアルト云フ純民族主義的ナ信仰トナリ、更ニ段々轉化シテ、遂ニ露西亞ハ何等特有ノ文化ヲ有セズ、西歐文化ニ對シテ其ノ現ニ有スル文化ト云フハ、以前ニびざんちん帝國ヨリ輸入セルびざんちん文明デアアル、而シテ露西亞ノ文化的使命ハ其ノびざんちん文明ヲ永久ニ保存スル爲メニ、極力西歐文明ヲ排斥スルコトニアルト云フ信仰ニ到着シタルデアアル。是レ即チ最近ノ大革命ノ起ルマデ露國ノ官僚社會ヲ支配シテ居ツタ信仰、即チ露西亞ノ使命ハ新シキ感物ヲ創造スルニ非ラズシテ、峻嚴ナル專制君主の勢力ニヨリテ、古キびざんちん文明ヲ固持スルニアルト云フ信仰ノ發達シ來レル徑路デアアル。

要スルニ露西亞民族或ハすらジ民族特有ノ文化ニシテ、而シテ又世界的文化トナル可キ一定ノ文化ヲ產出スルガ、露西亞民族ノ使命デアルト云フ民族主義的ニシテ又世界主義的ナル思想ヨリ出發シタル一思潮ガ、結局露西亞ハ過古ニ輸入サレシ外國文明即チびざんちん文明ヲ保存スル爲メニ、新ラタニ輸出サレントスル外國文明、即チ西歐文明ヲ極力排斥ス可キモノデアルト云フ思想ニ到着シタルデアアル。而シテカカル思想ハ、びざんちん文明ガ實質上西歐文明ニ勝レルモノデアルカ、少クモ之レト同價值ノモノデアルニ於テ、始メテ合理的ト認メ得ラレルノデ、若シ然ラ

ズバ、只古キモノハ總テ新シキモノニ勝ルト云フ一種ノ迷信ヨリ起レルモノカ、又ハ特定ノ階級ノ利益ヲ圖ル爲メニ民衆ノ利益ヲ犧牲ニ供セントスル階級の利己心ノ發現ニ外ナラヌ。然ルニ余輩ノ見ル處ニヨレバ、所謂西歐文明ナルモノハ、種々ナル社會的及び人格的害惡ヲ齎ラセルニ係ラズ、全體トシテハ、遙カニびざんちん文明ニ勝レタルモノデアル。サレバびざんちん文明ヲ固持センガ爲メニ、西歐文明ヲ全然排斥セントスル企圖或ハ方針ハ、人類ノ進歩文化ノ發展ノ上カラ見テ有害ナル方針デアルト云ハネハナラヌ。尙ホ又現代的生活境遇ノ下ニ於テハ、カカル方針ハ到底維持サレ得可キモノデナイ。輒近ニ於ケル露西亞ノ著シキ現代の進歩、并ニ最近ノ大革命ノ成功ハ、何ヨリモ明白ニ此事ヲ證明シテ居ルト思フ。

要スルニすらぐ主義及び露西亞主義ノ發達ノ結果ニ就テ考ヘテ見ルト一國民又ハ一民族ニ特有ナル文化或ハ文化的要素ヲ發見シ之ニ基イテ其民族又ハ國民ノ特有ノ使命ヲ決定セントスル企圖ハ若シ之ヲ偏局ニ解スル時ハ其國民又ハ民族ノ健全ナル發達ニ對シテ重大ナル危險ヲ齎ラス恐レ有モノナル事ハ明白デアル。サレバカカル企圖ヲ抱イテ一國民又ハ一民族ノ文化的發達ヲ考究シ又其文化政策ノ原則ヲ樹立セントスル人々ハ大ニ注意スルヲ要スルノデアル。但シ余ハ敢テ此ノ種ノ企圖ニ反對スルノデハナイ。余モ或意味ニ於テハ拙著「民族心理講話」ノ中ニ論ゼシガ如ク民族的文化ノ特色ヲ認ムルノデアル。併シすらぐ主義者ヤ露西亞主義者ノ觀念スルガ如キモノトハ大ニ意味ヲ異ニシテ居ル。又普通ニ民族主義者ノ解スル如キモノトモ大ニ意味ヲ異ニシテ居ル。併シ茲ニ之ヲ論述シテ居ル暇ハナイカラ詳シクハ右ノ拙著ヲ一讀サレンコトヲ希望スル。